

授業科目名 (英語表記)	大阪の農業・水産業の将来を考える (Think about the future of Agriculture and Fisheries in Osaka)		
単位数	2(学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	岸上 光克、原 祐二		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：6月22日(土) 13:00～17:00	第4回：7月13日(土) 13:00～17:00	
	第2回：6月29日(土) 13:00～17:00	第5回：7月27日(土) 13:00～17:00	
	第3回：7月6日(土) 13:00～17:00	第6回：8月3日(土) 13:00～17:00	

【授業の概要・ねらい】

大阪南部地域では、農業や水産業従事者の伸び悩みや高齢化など、様々な課題が生じている。また、地域で安全な食が生産され、消費されるための環境づくりも大きな課題の一つである。この授業では、これらの地域課題が生じる背景や、その対策と、将来の展望などを明らかにしていく。

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション 都市農業新時代～これまでとこれから～
和歌山大学 橋本 卓壘名誉教授、和歌山大学経済学部 岸上 光克教授
- 第2回 大阪農業の実態と新展開
JA大阪中央会職員、和歌山大学経済学部 岸上 光克教授
- 第3回 大阪の農業振興を考えるうえでのヒント
和歌山大学経済学部 岸上 光克教授
- 第4回 大阪農業の実態を知ろう【フィールドワーク】
大阪府内の農業関連施設、和歌山大学経済学部 岸上 光克教授
- 第5回 大阪水産業の現状とこれからの展開
摂南大学農学部 副島 久実准教授、和歌山大学経済学部 岸上 光克教授
- 第6回 都市循環型農業の可能性とまとめ
和歌山大学システム工学部 原 祐二准教授、和歌山大学経済学部 岸上 光克教授



【到達目標】

- ①都市農業(もしくは都市近郊農業)の基本的枠組を理解し、説明できる
- ②都市農業(もしくは都市近郊農業)を取り巻く社会経済的環境の変化を理解し、説明できる
- ③都市農業(もしくは都市近郊農業)の社会経済的特性に基づく持続的発展可能性について理解し、説明できる

【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

各回の講義で行った課題の提出(50点)および最終課題の提出(50点)により評価します。

【教科書】

特に指定しません。必要に応じて、資料やファイル(データ)を配布します。

【参考書・参考文献】

授業中に示す。

【履修上の注意・メッセージ】

授業時に提示された予習課題に自主的に取り組んでください。それを踏まえて、授業で議論をします。受講生の理解度を見ながら、授業の進度やトピックの一部を調整することがあります(そのつど説明します)。授業内容や個人差によって変わりますが、予習に1時間、復習に1時間程度の学習を計画してください。

【履修する上で必要な事項】

都市農業に関わる新聞記事やニュース等について日常的に目を通す習慣をつけてください。

【授業時間外学修についての指示】

本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行うこと。さらに、授業内容に関連する課題の調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。

【授業理解を深める方法】

都市農業の理解については、都市計画法や都市農業振興基本法などの法制度を中心として多様な基礎知識とともに、現場感覚が必要となる。

関係図書や資料を読む座学とともに、都市農業関連の情報収集の機会を持つ必要がある。